



## 【展示物名】 「古い用具・農具」、「絵画パネル」 (民俗資料展示室)

【該当する学年】 **小3** **小4** 小5 小6 中1 中2 中3

### 【学習指導要領】

<小学校3・4年> 「地域の人々の生活」

(5) 地域の人々の生活について、次のことを見学、調査したり年表にまとめたりして調べ、人々の生活の変化や人々の願い、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考えるようにする。

ア 古くから残る暮らしにかかわる道具、それらを使っていたころの暮らしの様子

### 【写真】 【古い用具】



かご：食べ物を入れて軒下などの涼しい場所で保存するもの



ひつ：ご飯を保温するもの



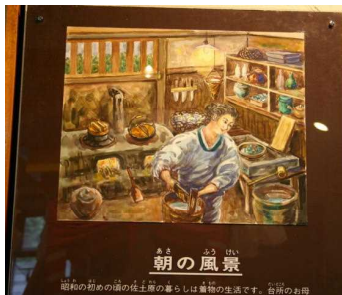
豆腐かご：豆腐を入れて水を切って運ぶもの



茶缶：筒状の密封容器



炭火アイロン：炭火を入れて鉄底を温めて使うもの



【絵画パネル：昭和初期の1日の暮らし】

### 【展示物の説明および学習内容（ねらい）】

☆ 民俗資料展示室には、佐土原出身の画家、濱川忠夫氏が描いた「昭和初期の生活の様子」の絵画パネルや、教科書、副読本に出ている古い道具や農具などを常設している。

☆ **小学校3・4年生「古い道具と昔の暮らし」**では、朝、昼、夜の1日の様子や春夏秋冬の仕事が描かれている絵画パネルや解説から、当時の用具、道具の使い方を理解することができる。また、**古い用具や道具（かご、ひつ、炭火アイロンなど）を見たり触ったり**、学習指導員による石臼の実演や説明を聞くことで、道具の役割やいつ頃使われたものなのかを理解でき、現在の用具・道具までどのように変化したのかを探究的に学習することができる。